

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第7部門第1区分  
 【発行日】平成18年7月13日(2006.7.13)

【公開番号】特開2005-93120(P2005-93120A)  
 【公開日】平成17年4月7日(2005.4.7)  
 【年通号数】公開・登録公報2005-014  
 【出願番号】特願2003-321513(P2003-321513)  
 【国際特許分類】

**H 0 1 M 8/04 (2006.01)**

**H 0 1 M 8/00 (2006.01)**

【F I】

H 0 1 M 8/04 P

H 0 1 M 8/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成18年5月25日(2006.5.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

燃料電池が電力を供給しているとき、電力の供給先である負荷装置の状態に基づいて、該燃料電池に対する出力要求の変動を予測する予測手段と、前記予測手段の予測結果に基づいて燃料電池へ供給する燃料量を決定する決定手段と、前記決定手段が決定した燃料量を燃料電池へ供給する供給手段と、を備えることを特徴とする燃料電池の制御装置。

【請求項2】

更に、燃料電池に対する出力要求値と、燃料電池に燃料を供給する際に基準とする基準燃料量との対応関係を記憶する記憶手段を備え、

前記決定手段は、前記対応関係を参照して、指示された出力要求値に対応する基準燃料量を求め、前記予測手段の予測結果に基づいて前記求めた基準燃料量を修正し、燃料電池に供給する燃料量を決定することを特徴とする、請求項1記載の制御装置。

【請求項3】

前記負荷装置が車両搭載モータであることを特徴とする請求項1又は2記載の制御装置。

【請求項4】

前記予測手段は、前記負荷装置が搭載される車両の走行環境データ、該車両に対する使用者の指示の少なくともいずれか一方に基づいて、燃料電池に対する出力要求の変動を予測することを特徴とする請求項3記載の制御装置。

【請求項5】

前記走行環境データは、路面判別センサ、車間距離センサ、傾斜センサ、ナビゲーションシステムのいずれかが出力するデータを含むことを特徴とする請求項4記載の制御装置。

【請求項6】

前記負荷装置には更に蓄電装置が接続されており、

前記決定手段は、前記蓄電装置の状態に基づいて燃料電池へ供給する燃料量を決定することを特徴とする、請求項1乃至5のいずれか1項に記載の制御装置。

## 【請求項 7】

燃料電池が電力を供給しているとき、電力の供給先である負荷装置の状態に基づいて、該燃料電池に対する出力要求の変動を予測する工程と、前記予測工程の予測結果に基づいて燃料電池へ供給する燃料量を決定する工程と、前記決定した燃料量を燃料電池へ供給する工程と、を備えることを特徴とする燃料電池の制御方法。

## 【請求項 8】

請求項 7 記載の燃料電池の制御方法をコンピュータで実行させるためのプログラム。

## 【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明の燃料電池の制御装置は、燃料電池が電力を供給しているとき、電力の供給先である負荷装置の状態に基づいて、該燃料電池に対する出力要求の変動を予測する予測手段と、前記予測手段の予測結果に基づいて燃料電池へ供給する燃料量を決定する決定手段と、前記決定手段が決定した燃料量を燃料電池へ供給する供給手段と、を備えることを特徴とする。

## 【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

本発明の燃料電池の制御方法は、燃料電池が電力を供給しているとき、電力の供給先である負荷装置の状態に基づいて、該燃料電池に対する出力要求の変動を予測する工程と、前記予測工程の予測結果に基づいて燃料電池へ供給する燃料量を決定する工程と、前記決定した燃料量を燃料電池へ供給する工程と、を備えることを特徴とする。